

だつ せんげん 脱〇〇キャラ宣言

(8年)



さいゆうしゅうしょう
最優秀賞

ある日、こんな動画を見ました。並んでいるのは4つの紙コップ。中には水が同じくらい入っています。3つの紙コップが、残り1つの紙コップに話しかけます。

「お前っていい奴だよな」

「でも、いい奴すぎてキモイよな」

それを聞いた1つのコップは、穴があいてしまいます。そこからどんどん漏れていく水。声をかけたコップは続けて言います。

「笑えよ！俺が悪者みたいだろ」

一つのコップは、とうとうボロボロになってしまいました。私は、このボロボロになった紙コップが、まるで自分のように感じました。

皆さんは、「立ち位置」という言葉を知っていますか。別の言い方をすると、「キャラ」ともいいます。自分が所属している集団でどんな存在かということです。「おもしろいキャラ」だったり、「かしこいキャラ」だったり、いろいろあります。私の学校でのキャラは、「いじられキャラ」です。別にこのキャラに抵抗はありません。みんなが笑ってくれたらうれしいし、私も楽しむことができます。でも、たまに度を超えたいじりがあります。それは、強くたたかれたり、けっこうキツイことを言われたりするときです。本当に、心の中の地雷を踏まれたような気分になりました。

「言い返せばいいじゃん」

「先生に言ったら」

とか、思う人もいるでしょう。でも、怖いんです。作り笑いをしておかないと、望まれた「キャラ」を演じなければ、人が離れていってしまうのではないかと考えて、心が苦しくなってしまうこともありました。そういうときは、自分の好きなゲームをしたり、お気に入りの動画を見たりして、なんとか乗り越えてきました。でも、ある日、こんなことがありました。

「Kはいじりやすいからいいよー。」その瞬間、心がボロボロに崩れていくのを感じました。相手には何気ない一言だったんだろうけど、私にとっ

では、大きなダメージでした。他にもいろんな大変なことが重なり、心がすごく落ち込んでいるときでした。疲れているときにズバッと一撃が入ると、プツンと糸が切れたみたいに心がボロボロになってしまうんです。そう、まるであの動画に出てくる、穴のあいた紙コップのように。

動画の最後には、

「つらいと思ったらいいじめだからね」

という言葉が浮かびました。私はまだ耐えられるからいいけれど、もし、これが、心がもっと弱い人だったら、こんなじゃすまなかったかもしれません。

私は皆さんに2つ、お願いをしたいです。1つ目は、言葉の使い方を間違えないようにすることです。言葉は人を助けたり、心をあたたく包んだりすることもできます。でも、使い方を間違えると、傷つけてしまいます。穴があいてしまった心からは、エネルギーがどんどん外に流れていってしまいます。人は作り笑いが得意な人だっています。相手が本当に大丈夫なのか考えて発言してほしいんです。

2つ目は、一緒に変化を起こしてほしいということです。変化とは、「〇〇キャラ」から脱け出すことです。まず、私を「〇〇キャラ」というように決めつけないでほしいんです。私たちは日々、いろんなことを学び、心も体も変化していくのですから。でも、変化を他人にばかり求めてはいけません。だから、私はここで脱〇〇キャラ宣言をします。正直なところ、私は自分に自信がありません。「要領が悪い」「おおざっぱ」「優柔不断」など理由はたくさんあります。だからといって、今のままの自分では嫌です。だから、「自分はこうせうだから」と考えるのはやめます。弱い自分を受け入れて、少しずつ変わっていけるように努力していきます。

私はチェスが好きです。チェスの駒は、強い順に「クイーン」「ルーク」「ビショップ」「ナイト」「キング」「ポーン」。でも、一番弱いはずの「ポーン」は、状況によっては、最強の駒にもなります。私は、この「ポーン」のように、日々の学びの中で力を蓄え、自分で輝けるようになりたいです。みんなに私の変化が、いえ、成長が伝わるように頑張りたいです。

みなさんも、ぜひ、一緒に「脱〇〇キャラ宣言」してみませんか。